

今できる予防と対策で 新型コロナと共に生きる

新型コロナウイルス感染症との闘いは長期化し、今後も繰り返し流行する可能性が高いと予想されています。感染症の拡大防止対策として「新しい生活様式」の実践が求められるなど、新型コロナウイルスと共生していくため、私たちの暮らし方や価値観は大きく変化しています。今月は、今こそ行うべき予防や、市民・事業者を支援する市の取り組みについてお知らせします。

山下市長からの メッセージ



新型コロナウイルス感染症が長期化している中、市民のみなさんにおかれましては、日頃から感染予防対策や地域経済の回復に積極的に取り組んでいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、本市近郊では落ち着きを見せておりますが、大都市を中心に日々新たな感染者が報告されており、北海道は観光などで道外との往来も多いことから、引き続き警戒感を持って注視していかねければならない状況であります。

これから寒くなり風邪やインフルエンザなどが流行する季節を迎えます。市民のみなさんにおかれましては、生活の各場面において、マスクの着用やこまめな手洗いのほか、感染リスクが高まる3密を避け定期的な換気を行うなど「新北海道スタイル」

の実践に努めていただきますよう、改めてお願いいたします。

さて、国では、新型コロナウイルス感染症対策として「地方創生臨時交付金」を創設しました。この交付金は、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかな事業を実施できるよう交付されるもので、本市におきましても新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策と影響を受けている市民生活や地域経済への有効な支援を図るため、事業を計画し、取り進めているところです。

今後とも感染症の拡大防止を最優先に、社会経済活動との両立を図りながら、経済・医療・福祉をはじめさまざまな面から必要な支援策を講じてまいりたいと考えておりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

深川市長 山下 貴史

check!



今できる予防 一人ひとりが

問合先
健康福祉課健康推進係
(026・2609)

- 対策1 十分な休息と栄養を取り、健康管理をする
- 対策2 体調が悪いときは仕事や学校を休み、自宅で安静にする
- 対策3 「3つの密」を回避できない場合は避ける
- 対策4 屋外でも大きな声を出すことや歌うこと、近距離での会話、激しい呼吸を伴う運動は避ける
- 対策5 飲食店などは「新北海道スタイル」に取り組んでいるところを選ぶ

一人ひとりが対策できること

新型コロナウイルスの感染経路は飛沫感染や接触感染が中心です。手洗い・消毒や咳エチケット、マスク着用、まめに換気をするなど「新北海道スタイル」の実践を続けましょう。加えて、次のことも意識しましょう。

「新しい生活様式」を心掛けて暮らす今、感染拡大を防ぎながらより良く暮らしていくための予防のポイントをお知らせします。

イベントや行事などに参加する場合に注意すること

- 注意1 咳エチケットやマスク着用、こまめな手洗い・消毒などの実施を心がけましょう。
- 注意2 咳や発熱など風邪のような症状がある場合、参加を控えましょう。
- 注意3 北海道コロナ通知システムと接触確認アプリ「COCOA」を活用しましょう。
- 注意4 高齢者や基礎疾患のある方はできるだけ人混みを避けましょう。

相談 体調に不安を感じたら

次の場合は、すぐに相談してください。

- ・強いだるさや息苦しさ、高熱などいづれかの強い症状がある
- ・発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状が4日以上続く
- ・重症化しやすい方(高齢の方や基礎疾患がある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤による治療を受けている方など)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある

相談窓口

新型コロナウイルス感染症に関する相談を受け付ける電話番号が全道で一本化されました。また、深川保健所でも引き続き相談を受け付けています。

【北海道コロナウイルス感染症健康相談センター (0800-222-0018)】 ※通話無料

▶受付時間 24時間

【深川保健所 (022-1421)】

▶受付時間 平日 午前8時45分～午後5時30分

Apple iOS用



Android用



新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)は、新型コロナウイルスの感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができるスマートフォンアプリです。自分や大切な人を守るため、アプリをインストールしましょう。

新型コロナウイルス接触確認アプリをインストールしましょう

いまは、きよりととって

手を洗おう

咳エチケット

換気をしよう

3つの「密」をさげよう

テイクアウトやデリバリーも

オンラインを上手に使おう

いまは、小声で

北海道コロナ通知システムと接触確認アプリ(COCOA)を活用しよう

続けよう!「新北海道スタイル」

新北海道スタイル

事業者の支援と 地域経済の回復に向けた対策

PR費用を最大10万円助成

雇用促進と売上回復のための販路拡大などを目的に広告宣伝事業に取り組む市内事業者を支援します。※詳細は、広報ふかがわ10月号の10ページをご覧ください。

宿泊者に特産品を贈呈

宿泊施設の利用促進と特産品の需要回復のため、市内対象施設の宿泊者(先着3000組)に、特産品を贈呈します。対象施設など詳しくは深川観光協会のホームページ「ふかがわオイシイ泊キャンペーン」(<https://www.kitasorachi.com/tour/2035/>)をご覧ください。



▼ふかがわオイシイ泊キャンペーン



オンラインでの特産品販売力を強化

観光客の激減により需要が落ち込んだ特産品の売り上げを回復するため、宣伝広告や送料無料などの販売促進策を実施し、オンラインでの販売力強化を図ります。

肉用子牛・ソバ生産者を支援

外食自粛などにより需要が減少し価格が急落している肉用子牛とソバの生産者の負担を軽減し、安定した経営継続に向け、きたそらち農業協同組合に対し販売手数料などを支援します。

公共施設の指定管理者を支援

外出自粛や休業要請などにより利用料金による収入が減少した指定管理施設に対し、運営継続に向けた取り組みを支援します。

道の駅にデジタルサイネージを設置

デジタルサイネージ(電子看板)を道の駅「ライスランドふかがわ」の入り口に設置し、混雑予報を配信します。また、映像などによりキャンペーンや商品の情報を発信することでトイレのみの利用者も館内に誘導します。

▼デジタルサイネージのイメージ



映像や文字が変化します!



地方創生臨時交付金

深川市
交付金
限度額

6億2,541万8千円

このほかにも地方創生臨時交付金を活用した対策や支援などを計画・実施しています。

- プレミアム付商品券事業
- 休業協力感染リスク低減支援事業
- 水道料金軽減等事業
- ふかがわ新そばマルシェ、ふかがわ「街ぶら」プレミアム、こめっち新米&農産物フェスタ など

問合せ先 企画財政課企画係(☎26-2246)

地方創生臨時 交付金を活用 対策と支援を紹介します

これまで広報ふかがわでお知らせした事業のほかに取り進めている主な事業を紹介します。事業の内容など、詳しくは問い合わせしてください。

市民の暮らしを守る 感染拡大の防止対策

市立病院の迅速な診療体制を確保

感染患者などへの迅速な対応のため、発熱外来の環境とPCR検査体制など医療提供体制を整備します。

高齢者の見守り活動などを支援

必要な見守り活動や援護活動を継続的に展開するため、小地域ネットワークや介護予防サロンの各団体に対し、経費を支援します。また、高齢者の見守り活動や困りごとに対応する生活支援コーディネーターの活動範囲を広げ、支え合い活動の体制整備を促進します。

ノルディックウォーキングで健康づくり

外出自粛などによる運動不足を解消するため、屋外で安心して運動ができるノルディックウォーキングの貸し出し用ポールなど運動用具を整備します。

公共施設の3密対策

アグリ工房まあぶ…手洗い器具や換気設備を整備します。温水プール「ア・エール」…ソーシャルディスタンスを確保するため、更衣室のロッカーのうち一部を更新します。

高齢者のインフルエンザ予防接種を無料に

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行することを防ぎ、医療提供体制を維持するため、高齢者のインフルエンザ接種料を無料にします。※詳細は、広報ふかがわ10月号と一緒に配布するチラシをご覧ください。

災害時も安心できる避難所環境の整備

災害時に避難所などで感染症が拡大するのを防ぐため、間仕切りや室内テントのほか、マスクや消毒液などの備蓄品を購入します。

小・中学校の環境整備

- ・ICT(情報通信技術)を活用した授業を行うため、市内小・中学校に通う児童・生徒に1人1台の学習用タブレット端末を配置するほか、学習用通信ネットワークを整備します。
- ・マスクや消毒液などの衛生用品の購入や洋式トイレへの改修のほか、学校の換気機能向上のため、網戸や空気清浄機などを整備します。

しっかりとした経済構造の構築

「ワーケーション」で関係人口を創出

テレワーク(在宅勤務)や仕事と観光を兼ねて地域に滞在する「ワーケーション」を推進し交流人口を創出するため、本市の魅力や課題などの調査を行います。

光ファイバーケーブルを敷設

ブロードバンドサービスを新たに希望する世帯に光ファイバーケーブルを敷設し、情報通信基盤を整備します。